

デクセリアルズ株式会社

実証済技術

熱線再帰フィルム アルビード IRA2J700

実証番号 ヒートアイランド対策技術分野（建築物外皮による空調負荷低減等技術）：051-1506

導入先：導入時期 千代田区さくら館の窓ガラス 6階、7階廊下部：平成29年3月
東京電機大学 千住キャンパス 5号館の西・南面の窓ガラス：平成29年1月
横浜赤レンガ倉庫 ガラスボックスの窓ガラス：平成27年3月



写真1 導入事例（左上：千代田区さくら館、左下：横浜赤レンガ倉庫、右：東京電機大学千住キャンパス5号館）

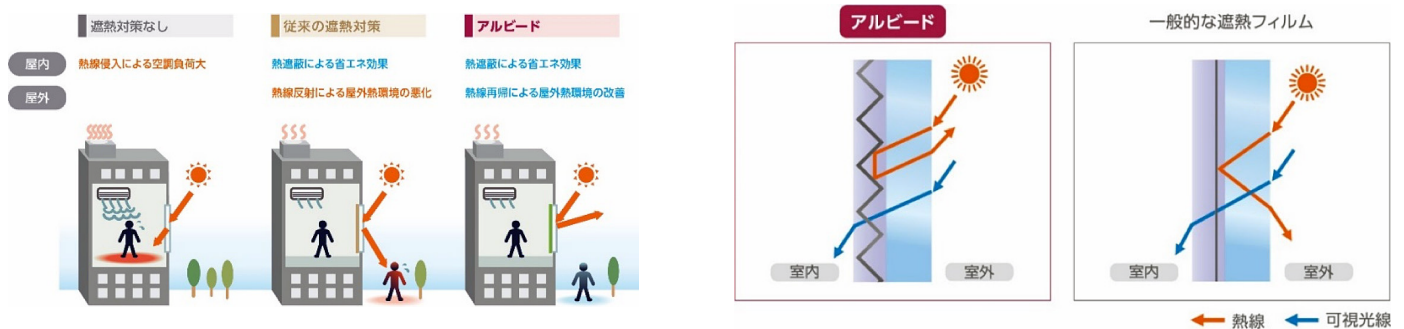
ETVに関する事業者様のエピソード

東京都クールスポット創出支援事業の補助金申請資料の1つとして、実証報告書を有効活用させていただきました。
官公庁からも受注をすることが出来、今後の広がりにも期待しています。

技術概要

従来の遮熱フィルムでは難しかった太陽からの近赤外線(熱線)を、上方に反射することを可能とした新しいタイプの遮熱フィルム。

建物の窓から室内へ侵入する熱線を遮断することで、室内温度の上昇を抑制すると同時に、窓から地表面へ向かう熱線を減らすことで建物周辺の地表温度の上昇も抑制する。



広報への活用例

・ 建築用ウィンドーフィルム

熱線再帰フィルム

熱線を上方に再帰させることで、室内と街路の熱環境を改善する熱線再帰TMフィルム アルビード。

製品選択:

IRA2J700 IRAW700

● 型番 IRA2J700

● 特長

- 内部の樹脂加工された山形の特異な反射膜により、上方からの近赤外線(熱線)を上方に反射させ、地表に向かう熱線を遮断する遮熱フィルム。
- フィルムを貼らない窓ガラスに比べ、室内に侵入する近赤外線を約70%^{※1}カット。また、赤外線も99.9%カット。
- 可視光線透過率68%^{※2}により、明るい室内を實現。
- ガラス破片の飛散や落下防止に優れた効果を實現。

Albeedo.

※1 熱線再帰: 上方から入射する熱線を上方に反射する機能を指しており、必ずしも光線に向かって反射するものではありません。

※2 JIS A5763に準拠した金属材料の日光透過率と日射反射率に、透射帯幅100~250nmの樹脂塗布を併せかけたものとして、近赤外線透過率と近赤外線反射率を計算し、近赤外線カット率として算出。フィルムを貼付したガラスの赤外線透過率による削減割合を算出。削減率70.7%。

※3 JIS A5763に準拠

グリーン購入法
適合品

環境技術
実証事業
ETV 環境省
ゼロエミッション
ネットゼロ
削減率 0% - 15%
実証事業
本事業の成果とノウハウを
広く公開しています。詳しくは
www.env.go.jp/policy/etv
お問い合わせください。

GOOD DESIGN

図1 ロゴマークの使用例

企業情報・連絡先

デクセリアルズ株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎 1-11-2 ゲートシティ大崎 イーストタワー8F
TEL : 03-5435-3946 FAX : 03-5435-3072 WebSite : <http://www.dexerials.jp/>

当資料に関して ETV に関する事業者様のエピソード及び技術概要については、事業者様の責任においてご紹介いただく内容であり、環境省及び実証機関は、内容に関して一切の責任を負いません。

環境省 環境技術実証事業

事業の詳細、その他の実証結果はウェブサイトに掲載しております。 <http://www.env.go.jp/policy/etv/>